

2013年度 前期		リフレクションペーパー						
学科名	電気通信工学科							
科目名	電子回路 I							
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	2年前期			
必修・選択の別	必修科目(組込みシステムコース) / 必修科目(電気エネルギーコース) / 必修科目(情報システムコース)							
担当者	江崎 秀							
授業の到達目標(シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ダイオード、バイポーラトランジスタ(BPT)、FETの基本特性を理解し、近似できる。(B3)</li> <li>・ダイオードを用いた整流回路を覚え、解析することができる。(A7,B3)</li> <li>・BPTの動作のしくみを理解し、バイアス回路の適切な設計指針を覚える。(A7,B3)</li> <li>・基本的なBPTエミッタ接地増幅回路を覚え、直流回路と交流回路に分離できる。(A7,B3)</li> <li>・BPTの小信号等価回路を覚え、エミッタ接地回路を小信号等価回路で表現できる。(B3)</li> </ul>							
内容	4/10 電子回路とは・電気回路復習 4/17 クイズ①・半導体、ダイオード 4/24 クイズ②・整流回路 5/1 クイズ③・トランジスタとは 5/8 クイズ④・固定バイアス回路 5/15 クイズ⑤・固定バイアス増幅回路 5/22 クイズ⑥・回路復習と電流帰還バイアス回路 5/29 クイズ⑦・増幅回路と交直分離と負荷直線 6/5 クイズ⑧・負荷直線と最適動作点 6/12 クイズ⑨・臨時試験向け演習 6/19 臨時試験① 6/26 交流成分とhパラメータ 7/3 クイズ⑩・電流・電圧・電力増幅度 7/10 クイズ⑪・⑫・総合演習 7/17 定期試験 7/24 講評・総合演習							
成績評価基準	定期試験	20%	実技	0%	臨時試験	20%	部外評価	0%
	報告書・レポート	0%	プレゼンテーション	0%	課題	0%		
	演習	60%	計	100%				
授業到達目標の達成度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ダイオード、バイポーラトランジスタ(BPT)、FETの基本特性を理解し、近似できる。:FETの解説は不十分だった</li> <li>・ダイオードを用いた整流回路を覚え、解析することができる。:達成した</li> <li>・BPTの動作のしくみを理解し、バイアス回路の適切な設計指針を覚える。:達成した</li> <li>・基本的なBPTエミッタ接地増幅回路を覚え、直流回路と交流回路に分離できる。:達成した</li> <li>・BPTの小信号等価回路を覚え、エミッタ接地回路を小信号等価回路で表現できる。:達成した</li> </ul>							
反省点	昨年度に引き続き、①座席を出席簿順とした。②小テストの評価配分を増やした。③演習中心の授業とした。加えて、演習問題を直接問題用紙に解かせる方式からノートに書き写す方式に変更した。昨年度より合格率は向上したが、欠席者が多いのは問題である。効果的な自己学習方法が見いだせないのは昨年から引き続き課題である。							
来年度の計画	小テストのための自己学習をさせる工夫を引き続き考える。							
授業評価アンケートに対するコメント	10点総合評価で平均8.5点は昨年度より-0.1点だが、特に問題ない。しかし、残念ながら成績には結び付いていない。今年度は自由記述アンケートの早期実施ができなかった。来年度は実施したい。							
履修登録者数	61名	定期試験受験者数	51名	合格者数	39名	合格率	76%	